撮影コマ数の算出方法

■冊子本

・1点1冊ものの場合、丁数に「3」を加算した数がコマ数となります。

・1点が複数冊から成る資料の場合、各冊につき「3」を丁数に加算した数がコマ数になります。

　　　（3コマの内訳）

①表紙

②裏表紙裏が見開き左側にくる最終丁のコマ

③裏表紙

　・帙がある場合は、1点につき「1」を加算します。

　・書袋がある場合は、1点につき「2」を加算します。

　・丁数に含まれていない付録や小冊子などがある場合は、適宜加算してください。

（例1）冊子本（1冊・70丁）の場合　→　70＋3 = 73コマ

（例2）帙に入った冊子本（1冊・50丁）の場合　→　50＋3＋1 = 55コマ

（例3）帙に入った2分冊の冊子本（1冊目30丁，2冊目34丁）の場合

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　→　30＋34＋(3×2)＋1 = 71コマ

■巻子本

・1軸/巻につき2コマ加算。（表紙、予備1コマ）

＜補足＞

・巻き姿（巻かれた状態）を撮影する場合は、その分（1～2コマ）を加算。

・国文研では、納品される画像サイズが概ね縦：横＝1：1.5という比率であることから、以下の計算式により本体部分のコマ数（概数）を算出しています。

**全長÷（巻子の縦幅×1.5）＝コマ数**

例えば縦幅20cm、全長6m（600cm）の巻子本の場合は、

600÷（20×1.5）＝20コマ

　→巻き姿1＋表紙1＋本体20＋予備1＝23コマ

※実際に撮影すると1，2コマの差が出ることがあります。

※内容によっては、実際に資料を見てカウントした方が良いものもあり、その場合は計算式を使わずカウントしています。（例：絵と文が交互に、同じ幅で出てくる巻子本などは目視でカウント。）

〈ターゲット撮影〉

　撮影資料の情報を示すターゲットを撮影する場合、資料の形態（冊子/巻子）に関わらず、1点につき「1」を加算します。

〈内訳の記録〉

　後々の点検で使用するため、加算コマ数の内訳と理由はなるべく記録するようにしています。

　（例）帙（+1）、表紙・裏表紙（+2）、表紙挟み込み資料（+2）